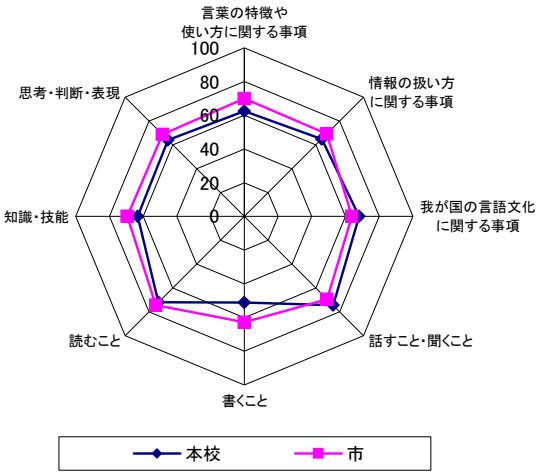
宇都宮市立雀宮南小学校 第６学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	62.5	69.9	72.3
	情報の扱い方に関する事項	64.9	69.2	73.0
	我が国の言語文化に関する事項	68.1	63.8	66.0
	話すこと・聞くこと	74.5	69.5	71.5
	書くこと	51.1	62.8	67.1
	読むこと	72.0	74.4	73.7
観点別	知識・技能	63.2	69.4	71.9
	思考・判断・表現	64.1	68.8	70.6

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

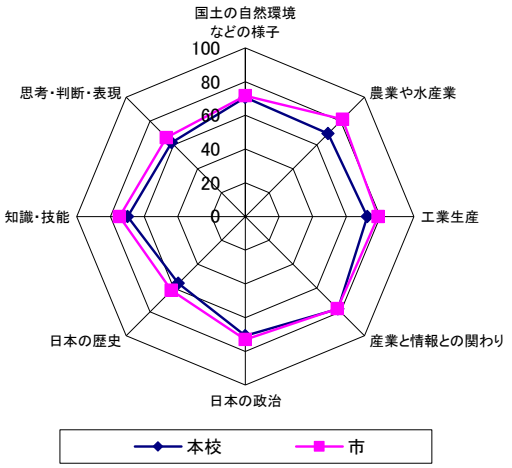
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は，市の平均より低い。 ●第5・6学年に配当されている漢字の読み・書きについての正答率が低い。三字の熟語の成り立ちを問う問題や文と文との接続の関係について問う問題への正答率が低い。文意に合った漢字を使うことや文と文のつながりの理解に課題が見られる。	・漢字のもつ意味や熟語などにも目を向けられるように，漢字の読み方だけではなく，文章全体を意識しながら練習に取り組むようにすることで，文意に合った漢字を適切に使えるようにしていく。
情報の扱い方に関する事項	平均正答率は，市の平均より低い。 ●情報と情報の関係について理解し，文章を簡単に書く問題の正答率が低く，目的に応じた文章の書き方に課題が見られる。情報を活用して表現することに課題が見られる。	・資料を基にして要点をまとめる力を育むために，日頃から，新聞記事の内容を簡潔にまとめるなどの課題を設定する。また，社会科や総合的な学習の時間で行う調べ学習でも，情報と情報の関係に着目できるような指導をしていく。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は，市の平均より高い。 ○語句の由来に関心をもち，和語，漢語，外来語についての理解を問う問題の正答率が高い。言葉に関心を高められるような活動の成果と考えられる。	・言葉への関心を高められるように，引き続き，国語の授業や自主学習の際，漢字練習にとどまらず言葉の意味や成り立ちに着目しながら学習することを継続していく。
話すこと・聞くこと	平均正答率は，市の平均より高い。 ○インタビューの内容を捉える聞き取る問題，インタビューの意図に応じて質問の工夫を考える問題の正答率が高い。	・話を聞き取る活動の時間を設定し，聞き取る力を育むようにする。
書くこと	平均正答率は，市の平均より低い。 ○目的や意図に応じてポスターの書き表し方を工夫する問題の正答率が高い。国語の時間だけではなく，総合的な学習の時間など，調べたことを伝える技法について取り挙げてきた成果と考えられる。 ●情報と情報との関係について理解し目的に応じて，文章を書く問題，指定された形式で文章を書く問題，自分の意見や理由を明確にして予想される反論を書く問題の正答率が低い。文章を書くことへの課題が見られる。	・短作文を書く時間を多く設け，与えられた条件（文字数や段落数など）に沿った文章を書く力を育むようにする。 ・社会や理科の学習の時間に，資料から分かることや実験の考察などを自分で考えて書く時間を設定するようにしていく。
読むこと	平均正答率は，市の平均より低い。 ○登場人物の心情について描写を基に捉える問題の正答率が高い。考えの根拠を文章中から捉えるように取り組んできた成果と考えられる。 ●説明文の内容を読み取り，文章全体の構成を捉える問題，説明文の叙述を基に文章の内容を捉える問題の正答率が低い。文章の読解に課題が見られる。	・叙述に即した文章の読み取りを練習する時間を多く設け，文章の理解を深められるようにする。

宇都宮市立雀宮南小学校 第６学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	70.6	71.6	67.5
	農業や水産業	69.5	81.5	82.1
	工業生産	72.3	78.7	70.8
	産業と情報との関わり	77.7	77.2	68.2
	日本の政治	70.7	73.1	77.9
	日本の歴史	56.1	62.0	65.8
観点別	知識・技能	69.8	74.6	74.5
	思考・判断・表現	61.9	66.2	65.2

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

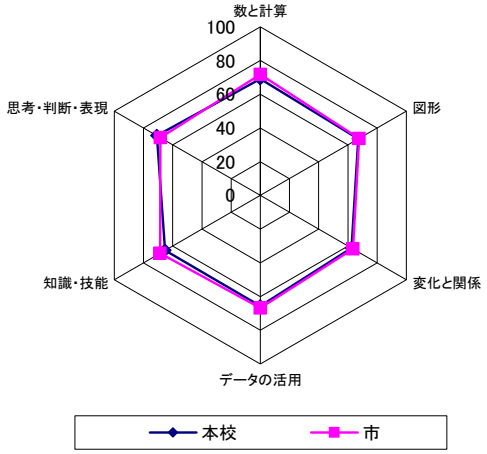
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は，市の平均よりやや低い。 ○日本の周辺の海洋名について問う問題，韓国の国旗と位置について問う問題の正答率が高い。地図を用いた学習の成果であると考えられる。 ●日本の主な地形の名称と位置の理解をもとに地図を読み取る問題の正答率が低い。日本の主な地形について地図を用いて捉えることに課題が見られる。	・地図や地形図に触れ資料を読み取る力を育むために，学習の中で都道府県，都市名，地形が出てきた場合に地図帳で確認する。既習事項である国土の様子を振り返る時間を設ける。
農業や水産業	平均正答率は，市の平均より低い。 ●都道府県の位置と農産物の産地の理解をもとに適切な地図を判断する問題，カントリーエレベーターについての理解を問う問題の正答率が低い。農産物の産地の理解や食料生産の様子の理解に課題が見られる。	・地図に触れ資料を読み取る力を育むために，学習の中で都道府県，地形が出てきた場合に地図帳で確認する。既習事項である食料生産の様子を振り返る時間を設け，地図と具体的事象を結び付けて考える時間を設ける。
工業生産	平均正答率は，市の平均より低い。 ●キャリアカーと船に着目して自動車の出荷の工夫を捉え表現する問題，日本の輸出品の資料を読み取る問題の正答率が低い。資料の読み取り方に課題が見られる。	・資料の読み取りの際には，資料から読み取れることを具体的に取り上げたり，読み取れたことをもとに考えていく活動を取り入れることで，資料を深く読み取る力の育成につながるようにする。
産業と情報との関わり	平均正答率は，市の平均よりやや高い。 ○資料に着目してコンビニエンスストアの発注システムについて捉え判断する問題の正答率が高い。 ●メディアの特徴についての理解を問う問題の正答率が低く，実生活に関連付けて理解するに課題が見られる。	・自分が触れているメディアの利点や問題点について，自分の経験から考える活動を積極的に取り入れる。
日本の政治	平均正答率は，市の平均より低い。 ○基本的人権の尊重について生活の中の具体的事例をもとに判断する問題，税金についての理解を問う問題の正答率が高い。身の回りの事象と結び付けながら学習した成果が出ていると考えられる。 ●日本国憲法についての理解を問う問題，図に着目して国民による政治の仕組みを判断する問題の正答率が低い。日本国憲法のや政治の仕組みに関する理解に課題が見られる。	・日本国憲法や政治のはたらきが自分たちの生活と結び付いていることを捉えられるように具体的な事例と結び付けて考える活動を積極的に取り入れる。
日本の歴史	平均正答率は，市の平均より低い。 ○鎌倉幕府が置かれた場所の資料を読み取る問題，15世紀から17世紀のできごとについて適切な見出しを判断する問題の正答率が高い。既習事項を意識的に復習している成果であると考えられる。 ●奈良時代の資料に着目して日本の文化に遣唐使が与えた影響を考え，表現する問題，江戸幕府による大名支配について適切な見出しを判断する問題の正答率が低い。歴史的事象とその影響について考えることに課題が見られる。	・歴史的な事象のつながりを結び付けて考える力を育むために，資料集を活用し，各時代に活躍した人物と歴史的事象を結び付けて学習できるようにする。また，児童自身が調べ学習をして，各時代の出来事を学び合う時間を多く設定する。

宇都宮市立雀宮南小学校 第６学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	69.1	71.8	76.2
	図形	67.1	67.7	67.8
	変化と関係	62.5	63.4	62.7
	データの活用	65.6	66.7	61.5
観点別	知識・技能	65.2	68.6	70.7
	思考・判断・表現	70.8	68.5	66.0

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

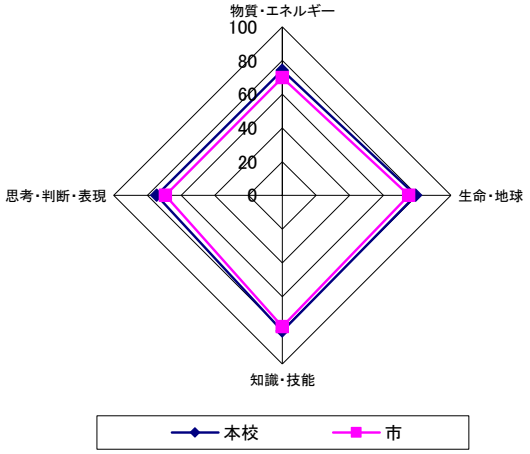
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は，市の平均よりもやや低い。 ○分数・少数の計算の問題の正答率が高く，習熟度別学習や復習問題に繰り返し取り組んだ成果と考えられる。 ●文字の式の問題の正答率が低く，特に2つの文字を使って表された式について，一方の文字の値から他方の文字の値を求める問題に課題が見られる。	・問題文を読み取る練習を繰り返し行うことで，問題を理解する力を身に付け，問題に即し必要な値を当てはめ解答できるようにする。
図形	平均正答率は，市の平均よりもやや低い。 ○三角柱の展開図から見取り図の辺の長さを求める問題の正答率が高く，デジタル教材などを通して，立体図形の見方を養った成果とみられる。 ●直方体を組み合わせた形の体積を求める問題の正答率が低く，複合図形の見方に課題が見られる。	・複合図形の面積や体積を様々な解き方で解く練習問題を行うことで，一方からの見方だけではなく，多面的に図形を捉えるようにする。
変化と関係	平均正答率は，市の平均よりも低い。 ○単位量当たりの大きさや速さを求める問題の正答率が高く，市の平均を上回っており，習熟度別学習や復習問題に繰り返し取り組んだ成果と考えられる。 ●割合・割合のグラフの問題の正答率が低く，基準量と比較量から割合を求める問題の理解に課題が見られる。	・基準量と比較量の確認をしっかり行い関連を正しく捉えられるようにし，求めたいものを正確に解けるようにする。
データの活用	平均正答率は，市の平均よりもやや低い。 ○折れ線グラフや帯グラフの読み取りやの問題の正答率が高く，グラフの示す数値の意味を捉えたり，数値から読み取れることを考えたりすることを繰り返し行った成果と考えられる。 ●ドットプロットや度数分布表から数値を読み取る問題の正答率が低く，代表値の意味を理解したり，複数のデータを分析することに課題が見られる。	・ドットプロットや度数分布表の復習をし，理解を確実にする。また，算数だけでなく他の教科との関連を図り，データの読み方・分析に慣れるようにする。

宇都宮市立雀宮南小学校 第６学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	74.3	69.9	67.8
	生命・地球	79.2	75.1	73.7
観点別	知識・技能	80.5	77.8	78.4
	思考・判断・表現	74.5	69.4	66.2

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	平均正答率は，市の平均より高い。 ○炭酸水の成分が二酸化炭素であることや，それを確かめる方法，金属（アルミニウム）と塩酸が反応してできたものが何かを調べる問題の正答率が高い。実験計画を立てたり結果の見通しを立てることを重視した成果と考えられる。 ●ふりこの決まりからメトロノームのテンポを速める方法を推論する問題の正答率が低く，学習したことを実生活に生かすことに課題が見られる。	・新たな学習問題に対して，自分なりの予想や仮説を立てる際，これまでの生活経験や学習した内容を想起させることを繰り返し，学習内容と実生活で起きる自然事象のつながりを感じられるようにする。 ・単元末には，学習したことを自然や生活との関りの中で見直すことで，より実感を伴って考えを深められるようにする場を意識的に作る。
生命・地球	平均正答率は，市の平均より高い。 ○観察カードの月の様子から，月を観察した時刻を推測する問題の正答率が高い。月の満ち欠けについて，グループ実験と個人実験を組み合わせながら取り組んだ成果と考えられる。 ●植物の茎を縦に切った時の断面の，水の通り道の様子を答える問題の正答率が低く，観察から得た知識の定着に課題が見られる。	・観察や実験を１度だけ行うのではなく，複数回繰り返し行うことで結果の妥当性を考えたり，映像や画像なども活用したりすることで，知識の定着をより図れるようにする。

宇都宮市立雀宮南小学校
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で，重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
活動のめあての明確化と振り返りの充実	本時のめあて明確にして授業の構想を立て，児童が見通しをもって学習に取り組めるように実践化を図るとともに，学びを実感できるよう，振り返りを毎時間自分の言葉で書くようにしている。	・めあてをもって授業に取り組める児童が増え，聞く態度や積極的な話合いなど授業態度への意識の肯定割合が高い結果となった。 ・活動が充実するとともに振り返りの内容にも変容が見られてきた。
家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫	自主学習の具体的な内容や具体的なやり方を児童に示したり，学年だよりの「学びのまど」で発信したり，よい例を取り上げて児童に示したりして家庭学習への意欲を高めるようにしている。□	・家庭学習の習慣が少しずつ身に付き，平日の家庭学習時間を確保できるようになってきたことが,普段学校の授業以外に学習する時感についての回答にも表れてきている。

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・基礎・基本の定着に向けて，場の設定（朝の学習・宿題）や方法（タブレットの活用など）を工夫する。
・思考力を高める指導の充実に向けて学校課題として取り組む。
・学年だよりの中に「学びの窓」のコーナーを作り，家庭学習及び学習についての保護者の理解と協力が得られるようにする。
・「できた」「分かった」という学習における達成感を十分に味わえるような授業作りに取り組むと共に，自己肯定感を感じられるような環境作りに努めたい。
・家庭学習において，自分で計画を立てて自主学習として取り組めるようにしていく。